



もとみや

議会だより

第 43 号

平成28年4月発行

希望を胸に！新一年生！
(和田小学校入学式)

入 学 式
式次第
一 来賓校教員代表による訓詞
二 来賓校教員代表による訓詞
三 来賓校教員代表による訓詞
四 来賓校教員代表による訓詞
五 来賓校教員代表による訓詞
六 来賓校教員代表による訓詞
七 来賓校教員代表による訓詞
八 来賓校教員代表による訓詞
九 来賓校教員代表による訓詞
十 来賓校教員代表による訓詞
十一 来賓校教員代表による訓詞
十二 来賓校教員代表による訓詞
十三 来賓校教員代表による訓詞
十四 来賓校教員代表による訓詞
十五 来賓校教員代表による訓詞
十六 来賓校教員代表による訓詞
十七 来賓校教員代表による訓詞
十八 来賓校教員代表による訓詞
十九 来賓校教員代表による訓詞
二十 来賓校教員代表による訓詞
二十一 来賓校教員代表による訓詞
二十二 来賓校教員代表による訓詞
二十三 来賓校教員代表による訓詞
二十四 来賓校教員代表による訓詞
二十五 来賓校教員代表による訓詞
二十六 来賓校教員代表による訓詞
二十七 来賓校教員代表による訓詞
二十八 来賓校教員代表による訓詞
二十九 来賓校教員代表による訓詞
三十 来賓校教員代表による訓詞
三十一 来賓校教員代表による訓詞
三十二 来賓校教員代表による訓詞
三十三 来賓校教員代表による訓詞
三十四 来賓校教員代表による訓詞
三十五 来賓校教員代表による訓詞
三十六 来賓校教員代表による訓詞
三十七 来賓校教員代表による訓詞
三十八 来賓校教員代表による訓詞
三十九 来賓校教員代表による訓詞
四十 来賓校教員代表による訓詞
四十一 来賓校教員代表による訓詞
四十二 来賓校教員代表による訓詞
四十三 来賓校教員代表による訓詞
四十四 来賓校教員代表による訓詞
四十五 来賓校教員代表による訓詞
四十六 来賓校教員代表による訓詞
四十七 来賓校教員代表による訓詞
四十八 来賓校教員代表による訓詞
四十九 来賓校教員代表による訓詞
五十 来賓校教員代表による訓詞
五十一 来賓校教員代表による訓詞
五十二 来賓校教員代表による訓詞
五十三 来賓校教員代表による訓詞
五十四 来賓校教員代表による訓詞
五十五 来賓校教員代表による訓詞
五十六 来賓校教員代表による訓詞
五十七 来賓校教員代表による訓詞
五十八 来賓校教員代表による訓詞
五十九 来賓校教員代表による訓詞
六十 来賓校教員代表による訓詞
六十一 来賓校教員代表による訓詞
六十二 来賓校教員代表による訓詞
六十三 来賓校教員代表による訓詞
六十四 来賓校教員代表による訓詞
六十五 来賓校教員代表による訓詞
六十六 来賓校教員代表による訓詞
六十七 来賓校教員代表による訓詞
六十八 来賓校教員代表による訓詞
六十九 来賓校教員代表による訓詞
七十 来賓校教員代表による訓詞
七十一 来賓校教員代表による訓詞
七十二 来賓校教員代表による訓詞
七十三 来賓校教員代表による訓詞
七十四 来賓校教員代表による訓詞
七十五 来賓校教員代表による訓詞
七十六 来賓校教員代表による訓詞
七十七 来賓校教員代表による訓詞
七十八 来賓校教員代表による訓詞
七十九 来賓校教員代表による訓詞
八十 来賓校教員代表による訓詞
八十一 来賓校教員代表による訓詞
八十二 来賓校教員代表による訓詞
八十三 来賓校教員代表による訓詞
八十四 来賓校教員代表による訓詞
八十五 来賓校教員代表による訓詞
八十六 来賓校教員代表による訓詞
八十七 来賓校教員代表による訓詞
八十八 来賓校教員代表による訓詞
八十九 来賓校教員代表による訓詞
九十 来賓校教員代表による訓詞
九十一 来賓校教員代表による訓詞
九十二 来賓校教員代表による訓詞
九十三 来賓校教員代表による訓詞
九十四 来賓校教員代表による訓詞
九十五 来賓校教員代表による訓詞
九十六 来賓校教員代表による訓詞
九十七 来賓校教員代表による訓詞
九十八 来賓校教員代表による訓詞
九十九 来賓校教員代表による訓詞
一百 来賓校教員代表による訓詞



新年度予算審査

視察研修報告（議会運営委員会・広報特別委員会）

第3回市民との意見交換会を開催しました

P.2～5

P.10

P.11

600万円



市民一人当たり
約68万円

※H28.3.31の住民基本台帳人口30,657人

総務費 13億6,947万円

市民一人当たり 4万4,671円

3



職員人件費や各種計画に

衛生費 102億5,862万円

市民一人当たり 33万4,626円

1



放射能対策や健康・環境衛生に

教育費 **12億5,604万円**
市民一人当たり **4万971円**
学校教育や文化芸術に

土木費 **10億5,537万円**
市民一人当たり **3万4,425円**
道路や河川・公園整備に

公債費 **9億8,047万円**
市民一人当たり **3万1,982円**
借金返済に

商工費 **7億3,932万円**
市民一人当たり **2万4,116円**
商工業・観光振興に

農林水産業費 **5億4,872万円**
市民一人当たり **1万7,899円**
農林業の振興に

消防費 **4億9,820万円**
市民一人当たり **1万6,251円**
消防・防災に

議会費 **1億7,391万円**
市民一人当たり **5,673円**
議員報酬・議会運営に

労働費・予備費等 **8,449万円**
市民一人当たり **2,756円**

民生費 37億4,139万円

市民一人当たり 12万2,040円

2



子ども・高齢者福祉に

28年度
予算

一般会計 207億

前年度比
36.4%の減

子どもたちの未来のために！

3月定例会は次年度の予算を
審議する大切な議会です

おひさま幼保園入園式

予算編成方針

「みんなが活躍!!
未来につながる

もとみや創生」

子どもからお年寄りまで
市民のだけれどもが、笑顔で元
気に安心して暮らせる「住
んで良かったと思えるもと
みや」を実現できることを
目標として、市は、平成28
年度は次の施策を重点に取り
組んでいくこととしています。

- ・放射能対策
- ・本宮駅東西アクセス整備
- ・子育て支援
- ・出会い創出・婚活支援
- ・定住促進
- ・妊産婦への支援
- ・企業立地の推進
- ・教育環境の向上
- ・高齢者への支援
- ・道路等の改良整備

このような施策を実施し
ていく上で、地域・市民・
行政が一体となった協力関
係を築きながら、さまざま
な事業を効果的かつ複合的
に実施し、市民サービスの
向上に努めていきたいとし
ています。

障がい者施設補助の背景は

民生費

問 障がい者共同生活援助等施設運営費補助金は、平成27年度までの3年間を限度とする補助と理解していたが、平成28年度も補助をする背景は。

答 このような施設は市内に1カ所しかなく、障がい程度が重度の方が入居している。現在、経営が厳しい状況にあるため補助をするが、平成29年度以降は施設のあり方を含め将来的な見通しを相談していく必要があると考えている。

出会いサポートの委託先は

総務費

問 もとみや出会いサポート事業の委託先は。

答 現在、県のふくしま結婚・子育て応援センターという組織の中でさまざまなイベント、セミナー等を委託している業者があり、そちらを想定している。併せて市内の企業でも、市が考えるそういった事業を受けられるスキルがある企業も含めて検討している。

商品券換金でお店にお金を

商工費

問 これまで取扱店が負担していた本宮商品券の換金手数料3%のうち1%を市で負担するというところであるが、取扱店の換金手数料をなくし、さらに換金すればお金を上乗せするといった支援は考えられないのか。

答 今回の市と商工会とお店で1%ずつ負担する措置は新たな方策であり、今後はその推移を見ながら商工会と協議をしていきたい。



▲気兼ねなく使える商品券に

各会計予算額

一般会計	207億600万円
国民健康保険 特別会計	(事業勘定) 34億8,009万円 (直営診療施設勘定) 9,978万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,393万円
介護保険特別会計	24億1,390万円
公共下水道事業特別会計	7億5,326万円
農業集落排水事業特別会計	5,790万円
工業用地造成事業特別会計	5億9,425万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円
水道事業会計	9億3,635万円
総 計	294億3,008万円

一般会計の歳入内訳

県支出金	100億3,972万円
市税	37億6,212万円
地方交付税	31億2,075万円
国庫支出金	12億1,904万円
繰入金	6億8,410万円
市債	5億7,700万円
地方消費税交付金	5億3,645万円
地方譲与税	1億6,135万円
分担金及び負担金	1億1,985万円
繰越金	8,000万円
その他(使用料等)	4億562万円
総 計	207億600万円



▲子どもや保護者からも好評のスキー教室

交付金対象事業の 継続は

教育費

問 夢先生やスキー教室は交付金を利用して実施しているが、交付金が確保できなかった場合、自主財源を使ってでも継続する気はあるのか。

答 これらの事業は学校や子どもたちからも要望があり、財源が確保できるように調査を進め、できるだけ継続できるよう検討していきたい。

本宮駅整備の財源確保は

問 本宮駅東西アクセス整備事業のさらなる財源確保策は。

答 市単独での出費を少なくするために、合併推進債が利用できないか県と事前調査をしている。

浄化槽補助金の事務改善は

問 浄化槽管理者の申請手続きを廃止し、直接助成金を管理者口座に振り込むことが事務の簡素化にもつながるのではないかと市長の見解は。

答 合併浄化槽に対する理解を深めていただく上でも考えていかなければならないが、現時点では今の方法を継続したいと考えている。

県に積極的な要望を

問 県の道路や河川の問題について積極的に県に足を運んで要望していただきたいがその考えは。

答 特に合併支援道路や百日川の整備などが進まない。何度も県に話をしているが新年度となるので、しっかりとした予算措置を要望していきたい。

新年度予算における思いは

問 どのような思いを持って新年度の予算編成をされたのか。

答 平成28年度は創生元年である。平成26年9月から予算を前倒しして取り組んできた定住促進事業を継続し、実りのあるものにしたい。今年は10周年という中で本宮の元気を発信していきたいと考えている。

希望を持てる農業政策を

問 風評被害や耕作者の高齢化による担い手不足など、将来の農業振興に強い不安を感じる。担い手不足解消や農業振興発展のために農業従事者やこれから農業に携わろうと考えている人が希望を持てる政策等を考えていかなければならないと考えるが。

答 一番大きな問題は風評被害であり、風評の払拭は地道にしっかりやっていきたい。あとは発信力やどのように安定して供給することができるかなど、必要な施策を行いたい。また、6次化についても市単独ではなかなか難しいが、その辺も含めて農業の振興に努めていかなければならないと考えている。

市長への総括質疑



各会計予算など 41議案を可決

3月 定例会

3月定例会（第1回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計予算など39議案と報告3件、議員からは発議2件が提出され、討論・採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情2件が提出され、審議の結果、採択と決定しました。

今議会には、平成28年度の各会計の予算が上程され、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

本宮第二中学校 グラウンド拡張に着手

今議会に提出された平成27年度一般会計補正予算の主なものは、歳出では本宮第二中学校のグラウンド拡張工事や国の年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給に係る経費、財政調整基金や教育施設等整備事業基金への積み立て、そのほか、各種事業の決算見込みによる補正等です。また、歳入では本宮第二中学校グラウンド拡張整備事業債や国の臨時福祉給付金の給付に係る補助金などが計上されています。

人事

任期満了に伴う教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任の議案が上程され、全会一致で同意しました。

教育委員会委員（新任）

遠藤 傳一郎氏（仁井田字西町）

固定資産評価審査委員会委員（再任）

笠原 サト氏（本宮字南町裡）

鈴木 文男氏（荒井字荒井）

渡辺 喜一氏（和田字竹ノ内）

「公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書」

「看護師等の労働環境改善による安全・安心の医療・介護を求める意見書」を提出

福島県教職員組合から「公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書」、福島県医療労働組合連合会から「看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書」が提出され、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し意見書を提出することとなりました。

平成27年度

一般会計補正予算

5億3千万円を増額

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

本宮第二中学校施設整備費
… 4億2,865万円
財政調整基金積立金
… 2億346万円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付費
… 9,831万円

歳入

本宮第二中学校グラウンド拡張整備事業債
… 4億2,970万円
臨時福祉給付金給付関係補助金
… 9,492万円

一般会計総額

351億4千万円に

▲拡張工事が始まる本宮第二中学校グラウンド

議案質疑

物件補償費の内容は

問 本宮第二中学校施設整備費の中の物件補償費670万円の内容は。

答 一部コンクリート造りの物置と農地等にある立ち木等の補償である。費用は物件調査を行った結果を踏まえた事業費となっている。

結婚新生活支援の内容は

問 結婚新生活支援補助金の内容は。

答 国の平成27年度補正予算により創設された新規の補助金で、年間所得300万円未満の新婚世帯が新たな生活をスタートする上で必要になる新居の住居費や引越越し費用の一部を、18万円を上限として補助するものである。国の補助率は4分の3であり、市の負担は4分の1となる。



▲個人番号の利用により手続きが簡素化される

総務文教常任委員会

本宮市行政不服審査法施行条例制定についてのほか議案7件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

大は 個人番号の利用拡大

説明 市民の行政手続きの簡素化及び事務の効率化を図るため、子ども医療費助成、ひとり親家庭医療費助成、重度障がい者医療費助成の3事業の事務手続きに、市が独自に個人番号を利用できるように条例を一部改正する。

問 今後の個人番号の独自利用の範囲拡大の予定は。

答 今後、国においても個人番号の利用をさらに推進すると想定されるため、各部署と協議し、市民にメリットがあるものについては随時利用拡大を図りたい。

行政不服審査法施行条例制定

説明 行政不服審査法の改正に伴い、不服申立制度の公正性と使いやすさの向上、救済手段の充実を図るため、条例を制定する。

陳情の審査結果

陳情第1号「公立小学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書」は、児童・生徒への教育・指導が多様化している教育環境の実態を踏まえた対応が必要であるため、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

生活福祉常任委員会

本宮市税条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案1件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲集会所等の指定管理者を決定

税条例の一部改正

は 換価の猶予の基準

説明 平成27年度地方税法の一部改正により、地方税における徴収及び換価の猶予の規定を整備することに伴い、本市の税条例に規定を追加し、また、市税減免の申請期限を申請の利便性に配慮する観点から、延長する改正である。

問 申請による換価の猶予の適用基準は。

答 滞納者との交渉、実態調査を行い、徴収金の納付等に誠実な意思を有し、市税を一時に納付することで生活の維持を困難にする恐れがある場合などに認められるが、納税者間の公平性など、均衡を図りつつ慎重に判断する必要がある。

公の施設に係る指定管理者の指定

説明 期間満了に伴う集会所等の公の施設の指定管理者について議会の議決を求めるものである。

陳情の審査結果

陳情第2号「看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書」は、高品質の医療・介護サービスを提供するためには、夜間交代制勤務を行う看護師及び介護従事者などの労働条件の改善や十分な確保が不可欠であり、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。



▲復興公営住宅工事箇所（仁井田字吹上地内）

産業建設常任委員会

本宮市鳥獣被害対策実施隊設置条例制定についてのほか4件の議案が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定

委員の選出基準は

説明 農業委員会法の改正に伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を条例で制定する。

問 農業委員と推進委員の地区ごとの選出基準はどうなるのか。

答 特定の地区に偏らず、公平な選出人数となるよう、要綱等で定めていきたい。

鳥獣被害対策実施隊設置条例制定

実施隊の人数は

説明 有害鳥獣の被害対策を委託している本宮市有害鳥獣捕獲隊をより実効性の高いものにするため、捕獲隊から実施隊に組織を移行する。

問 実施隊の人数は何名となるのか。

答 現在の捕獲隊は猟友会本宮支部から推薦のあった19名で組織されており、実施隊も当初19名に委嘱することになる。本市の規模や被害状況から30名程度が必要と考えている。

現地調査

復興公営住宅と市道東笹田・五味内線工事箇所の現地調査を実施し、現状と今後の課題について説明を受けた。

本宮駅周辺整備検討特別委員会 JR安達駅を視察



▲東西自由通路



▲JR安達駅東側入口

2月19日にJR東北本線安達駅の現地調査を実施しました。
安達駅では、二本松市建設部からの説明を受け、1月に供用が開始された東西自由通路等を視察しました。
また、現地調査の後、今後の委員会運営について協議を行いました。

委員会において、委員から出された意見は次のとおりです。

- ・駅の整備は、周辺整備と一体になって進めていくべき。
- ・駅は通過する場所である。施設はシンプルで良い。
- ・本宮駅が整備されれば、エレベーターも設置され、非常に利用しやすい駅になる。
- ・財源の補助率40%は出るか出ないかわからない状況である。
- ・安達駅は合併特例債も活用している。
- ・パブリックコメントで出された意見について、議会としても協議すべき。
- ・この費用をかけて整備した場合、後年度にどのような影響がでるかを調査すべき。
- ・将来の本宮市の人口や、駅利用者の問題、事業規模と財政問題等を調査すべき。

本特別委員会は今後もしばしば引き続き調査・検討を行います。

議会運営委員会

議会運営の先進地を視察

2月1日に、議員間討議および議会報告会の実施状況について、群馬県桐生市議会を視察しました。

桐生市議会は、議員定数22人、3つの常任委員会で構成されています。

議員間討議については、常任委員会で議案等の採決前に委員全員が理由を含めた賛否の表明を行い、意見を交わしています。一人ひとりが順番に発言することで、論点が明確になり、議員間討議を通して議案等の内容の理解度を深めています。

次に、議会報告会については、定例会ごとに市内に15カ所ある中学校の学区を単位として、1カ所ずつ順番に回り、今までに15回開催されました。議会で議決した議案の説明と意見交換を行い、全議員が出席し、各自2分間の発言時間の中で意見を述べることであります。回数を重ねる度に参加者が減少しているため、今後のあり方が課

題となっています。

そのほかの議会運営に関する取り組みでは、議長記者会見、インターネットによる議会中継、コミュニティFM放送での議会情報番組、フェイスブックなどを利用した情報発信など、多くの手段で情報発信を行っており、本市議会にとっても参考となるものでした。



▲群馬県桐生市視察研修

議会広報特別委員会

より良い議会広報を目指し先進地を視察

2月1日に、群馬県玉村町議会の議会広報を調査研修しました。

玉村町議会は、群馬県町村議会議長会や全国町村議会議長会が主催する議会広報研修会に積極的に参加するなど、精力的に広報紙づくりに取り組んでいます。全国町村議会広報コンクールでは平成26年度に編集・デザイン部門での奨励賞を受賞しています。

議会広報紙「たまむら議会だより」は平成10年5月に創刊され、現在までに72号を数えており、編集は、6名の議会広報特別委員を中心に行っています。

発行日は定例会翌月の第3月曜日で、掲載内容は、定例会・臨時会の概要、議案審議の経過、請願陳情審査、一般質問、委員会活動報告等です。

このほかにも、裏表紙の「みんなの広場」では、広報特別委員が町のサークル等取材し、紹介しています。

編集に当たっては、とにかく読みやすく、わかりやすい紙面づくりを心掛け、専門用語はなるべく使わず、また、文字ばかりにならないように、余白や写真を上手く使うように工夫しています。



▲特徴的なデザインの表紙（玉村町議会広報）

第3回本宮市議会市民との意見交換会

今年で3回目となる本宮市議会市民との意見交換会を1月27日に市内3会場で開催しました。本年度は「定住人口増加への取り組みについて」「これからの地域のあり方・活性化について」の2つのテーマについて主に意見交換をしました。それぞれの会場での結果を報告します。当日の詳しい会議録は本宮市議会のホームページに掲載しています。

いただいたご意見やご提案については、集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。

本宮第一中学校区



会場…えぼか

参加市民…24名

出席議員…斎藤雅彦、三瓶裕司、
後藤省一、円谷長作、
山本 勤、川名正勝、
作田 博、国分勝広
(8名)

主なご意見

- ・個々の農家や商店が自分たちで頑張る意識を持つように、それをバックアップしてほしい。
- ・住宅の建ぺい率の見直しを。
- ・堤防および道路拡張による立ち退きで行政区自体が成り立たない。行政区の再編成の検討を。
- ・自主防災組織の相談員を置いて、防災組織や地域ネットワークをつくるなどの町内会の活性化をしてほしい。

本宮第二中学校区



会場…荒井地区公民館

参加市民…25名

出席議員…橋本善壽、川名順子、
伊藤隆一、渡辺秀雄
(4名)

主なご意見

- ・会派だよりは視察研修の報告が主で、提言等が記載されておらず、物足りなさを感じる。
- ・五百川駅整備は駅を核とした周辺整備計画を立てて実施すべき。
- ・なぜ人口が増えないのか、市民サイドに立って対策を進めてほしい。
- ・議会はチェック機関にとどまらず政策づくり集団になっしてほしい。

白沢中学校区



会場…白沢公民館

参加市民…18名

出席議員…石橋今朝夫、三瓶幹夫、
菅野健治、根本七太、
渡辺善元、渡辺忠夫、
渡辺由紀雄(7名)

主なご意見

- ・出会いの場を行政でも企画してほしい。
- ・安達太良ドリームラインを有効活用してほしい。
- ・本宮・白沢地区の県道・市道の高低差を解消してほしい。
- ・安達疏水土地改良区への助成金の拡充をしてほしい。
- ・地元の方が地元を知るきっかけとして「ふるさと検定」を実施してほしい。

本会議での討論

3月8日と3月18日の本会議で、議案第14号、第16号、第21号、第29号の4つの議案について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第14号

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

この議案は、昨年10月の福島県人事委員会勧告に基づく職員の勤勉手当の支給割合引き上げに準じ、議員の期末手当の支給割合を引き上げるものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

議員の期末手当の引き上げは市民の理解が得られない。また、報酬審議会も開かない中で上げるのは問題である。

反対討論

国分勝広議員

人事委員会勧告は義務ではなく、自治体の財政状況により受け入れないことも可能であり、事例もある。福島県の市の中で将来負担比率が最も高い本市では受け入れるべきではない。また、市民の税金等から支出される議員報酬を議員だけで決めるのではなく公募した一般市民を交えた報酬審議会を開いて決定するのが常識である。

賛成討論

根本七太議員

本市議会はこれまでも人事委員会勧告によって手当の引き下げも同様に行っている。また、報酬審議会も今後は調整していきたいとの執行部の考えであるので賛成する。

議案第16号

本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

この議案は、議案第14号と同様に市長、副市長、教育長の期末手当の支給割合を引き上げるものです。

議案第21号

平成27年度本宮市一般会計補正予算（第9号）

通常の補正予算に加え、議案第14号、第16号で引き上げられる議員と市長等3役の期末手当分の費用が含まれています。

反対討論

渡辺忠夫議員

市長等の期末手当も同様、市民理解が得られないし、報酬審議会で審議されていない。条例の改正に加え、その引き上げ分の人件費が含まれる補正予算にも反対する。

賛成討論

根本七太議員

市長等も、これまで人事委員会の勧告に基づき、手当の引き下げも行っている。補正予算は、それらのほかにも緊急な対応が必要な事業や国の補正予算に対応した事業などの補正を行うもので、特に問題はない。事業の円滑な執行のため、速やかな承認をすべきである。

議案第29号

平成28年度本宮市一般会計予算

平成28年度の一般会計予算です。予算の概要は、2ページから3ページのとおりです。

反対討論

渡辺忠夫議員

マイナンバー制度は番号で国民を管理する制度であり、個人情報漏えいも心配される。制度を進める予算は適切ではない。また、軽自動車税の引き上げや本宮駅周辺東西アクセス整備の具体的計画が市民に明確に示されておらず、理解が得られていないこと、白沢地区の一時保育の廃止などの理由により反対する。

農家の経済力を高めるための支援策や商店街への支援策、職員の正職員化などを図り、地域住民の幸福度を上げることが強く求める。

反対討論

国分勝広議員

設計委託料が計上されている地域交流センターだが、どうして3階建てで、多額の税金を投入するだけの利点があるのか地域住民にも説明がされていない。2階建てでも十分間に合うはずであり、これからの人口減少と財源の縮小を考えると次世代の子どもたちへの負担を出来るだけ少なくするべきである。



賛成討論

橋本善壽議員

本予算は、本年度迎える市政施行・合併10周年の節目の年に当たり、すべての市民が将来に希望を持ち、明るく豊かに日々の生活が送れるよう、本年度が本市発展へ向けてのさらなるステップアップとなる重要な年であると考え、本市の地域特性や可能性を生かし、地方創生に取り組んでいくといった強い基本方針によるものである。

平成28年度を地方創生元年と位置付け、「住みたいふるさと」と「住んで良かったと思える」と「住んで良いく上で大変重要な予算である。」

3月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は14ページのとおり全会一致で可決されています。

会 派 名		みらい創和会					新 風 会					共	無 所 属								
議員名 議案番号	川名	渡辺	田谷	三瓶	渡辺	國分	川名	山本	三瓶	菅野	渡辺	斎藤	石橋	橋本	後藤	根本	伊藤	作田	国分	渡辺	
	正勝	善元	長作	幹夫	由紀雄	義之	順子	勤	裕司	健治	忠夫	雅彦	今朝夫	善壽	省一	七太	隆一	博	勝広	秀雄	
議案第14号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第16号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第21号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第29号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	

※○は賛成 ●は反対 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて（専決第2号 平成27年度本宮市一般会計補正予算（第8号））	原案可決確定
議案第6号	本宮市行政不服審査法施行条例制定について	原案可決確定
議案第7号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市鳥獣被害対策実施隊設置条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	本宮市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第13号	本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第14号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第15号	本宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第16号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第17号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第18号	本宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第19号	本宮市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第20号	公の施設に係る指定管理者の指定について	原案可決確定
議案第21号	平成27年度本宮市一般会計補正予算（第9号）	原案可決確定
議案第22号	平成27年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第23号	平成27年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第24号	平成27年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第25号	平成27年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第26号	平成27年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第27号	平成27年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第28号	平成27年度本宮市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第29号	平成28年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第30号	平成28年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第31号	平成28年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第32号	平成28年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第33号	平成28年度本宮市公共下水道事業特別会計予算	原案可決確定
議案第34号	平成28年度本宮市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決確定
議案第35号	平成28年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第36号	平成28年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第37号	平成28年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第38号	本宮地区等仮置場造成工事請負契約の一部を変更する契約について	原案可決確定
議案第39号	平成27年度本宮市一般会計補正予算（第10号）	原案可決確定
報告第1号	専決処分の報告について（専決第3号 復興公営住宅建設（吹上地区）建築主体工事請負契約の一部を変更する契約について）	
報告第2号	専決処分の報告について（専決第4号 復興公営住宅整備事業（下田地区）造成工事請負契約の一部を変更する契約について）	
報告第3号	専決処分の報告について（専決第15号 和解について）（専決第1号 和解について）	
発議第1号	公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書	原案可決確定
発議第2号	看護師等の労働環境改善による安全・安心の医療・介護を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（議会運営委員会・各常任委員会）	決 定

陳 情 一 覧 表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提 出 者	審議結果
陳情第1号	平成27年11月25日	総務文教	公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 安達支部支部長 鈴木 久之	採 択
陳情第2号	平成28年2月16日	生活福祉	看護師・介護従事者不足解消のため、 看護師等の労働環境改善で安全・安心の 医療・介護を求める陳情書	福島県医療労働組合連合会 執行委員長 野地 寿子	採 択

一般質問

市政を問う

3月定例会の一般質問は、15名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1議員2題、内容を要約してお伝えします。

16ページ：

■橋本善壽議員

- ・上ノ橋架け替え工事の進捗状況は
- ・通学路の除染はすべて行いつのか

■根本七太議員

- ・市長に問う新たな10年に向かつて
- ・国保財政の健全化策は

17ページ：

■石橋今朝夫議員

- ・道路の維持管理は十分か
- ・有害鳥獣対策は

■渡辺秀雄議員

- ・証明書のコンビニ交付見送りは
- ・耕作放棄地の増加が懸念されるが

18ページ：

■斎藤雅彦議員

- ・計画書(案)の添付が必要では
- ・定住促進の取り組みは

■後藤省一議員

- ・交通基本条例を制定すべき
- ・合併の効果の検証は

19ページ：

■国分勝広議員

- ・五百川駅周辺の基本構想作成を
- ・公共施設の木造化を図るべき

■作田 博議員

- ・開かれた総合計画策定を
- ・福島大学農学部への誘致を

20ページ：

■円谷長作議員

- ・公民館や体育館等の耐震診断は
- ・子どもの遊び場の安全対策は

■渡辺善元議員

- ・今後の風評被害対策は
- ・イクタンタクシーの運行の改善は

21ページ：

■渡辺忠夫議員

- ・戦争法についての認識は
- ・農業への支援策は

■三瓶裕司議員

- ・西部地区整備協議会をつくるべき
- ・保育士修学資金貸付制度の導入は

22ページ：

■川名順子議員

- ・墓地についてのアンケート調査を
- ・オレンジカフェへの支援は

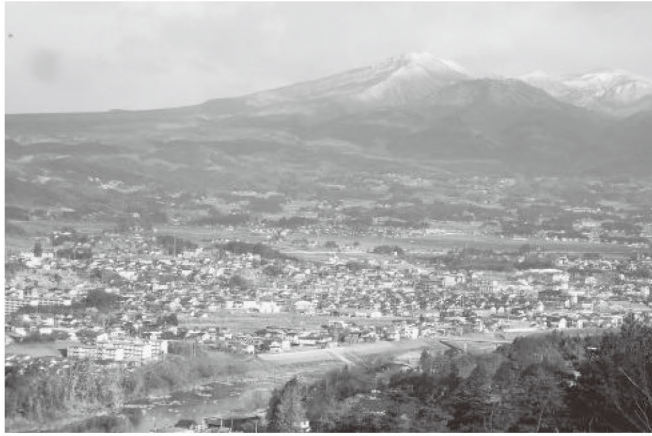
■三瓶幹夫議員

- ・出会いサポート事業の方策は
- ・子どもたちへの名所旧跡の伝承は

23ページ：

■菅野健治議員

- ・夢先生を実施している経緯は
- ・機構改革の考えは



合併10周年新たな創生に向けて

問 合併時の諸課題、東日本大震災で犠牲を強いられ、政策面での現状と認識と平成28年度は節目の年、新たな10年に向かって行政、議会、市民が英知を結集、変革を成し遂げなければならぬ。市長の見解は。

答 平成28年度は節目の年、今までは準備の助走期間であり、これからが地方創生本番の5年と考えている。本宮の持つ利便性を十分生かし住みやすいまち本宮から住んでみたい本宮へ変革を遂げ、皆でつくるもとみやを考えていきたい。

問 団塊の世代も高齢者となり、国保のあり方が問われている。国への支援陳情を続け自らの自助努力も必要である。人工透析患者は年々増加し、対策として医と市と患者で結ぶホットラインを開設し、国保財政の健全化を図るべき。

問 国保財政の健全化策は
答 医療機関と連携し健全化を図る

答 人工透析予備群は57名、重症化しないよう生活習慣改善の指導を進める予防事業に取り組む。特に医療機関と連携し、市民の健康寿命の延伸を目指すことで国保財政の健全化を図っていきたい。

その他の質問

- ・定住人口対策について
- ・市所有地の環境整備について



問 市長に問う新たな10年に向かって
答 創生5年、定住促進を図る

根本七太
議員



問 上ノ橋架け替え工事の進捗状況は
答 当初計画より1年ずれ込む見込み

橋本善壽
議員

問 上ノ橋の架け替え工事は平成27年度から着手すると発表されていたが、工事車両の出入りすら見当たらない。現在の進捗状況は。県からの情報等は捉えているのか。また、進捗状況を住民の皆さんに知らせるべきでは。

答 計6回の入札不調のため当初計画より1年ほどずれ込む見込みである。県の計画では、上ノ橋の供用開始目標は平成30年度、今ある橋の撤去は平成31年度を予定しており、進捗状況は、県と連携をとりながら広報等でお知らせしたい。

問 通学路の除染はすべて行うのか
答 調査結果を踏まえ作業を行いたい
発災後5年が経過し線量の値もだいぶ下がっている。線量の数値だけで判断すれば安全と考えられる所が多くあると思われるが、小さな子どものいる家庭の方々の安心のためにも、予定されている通学路の除染はすべて実施すべきでは。

答 市道の各路線では、放射線量の事前モニタリングを実施している。その調査結果を踏まえ、本市のアドバイザーである野口先生の意見等も伺いながら作業に入っていきたい。

その他の質問

- ・地域交流センターへの公民館機能移転の考えは
- ・五百川駅前広場整備について



架け替えが予定されている上ノ橋

問 個人番号カードの交付が2月5日から開始されたと聞きますが、交付状況と交付見込みは。また、県内の市で唯一住民票等のコンビニ交付を見送ったとの報道は、定住促進にマイナスではないか。

答 申請は2月末現在1,792人で、27年度中に人口の約10%の3千人程度と見込んでいる。導入には特別交付税措置があるものの、市の負担も多額になり、28年度当初からの導入は見送った。マスコミへの回答は鋭意勉強していきたい。

問 米価の下落等で採算が合わず、稲作をやめる農家が増えてきているが実態は。借り手の高齢化も進んでおり、農地の集積化、規模拡大にも限度がある。このままでは耕作放棄地の増加が懸念されるが対策は。

答 米販売農家はここ10年で315件ほど減少している。米価下落等に伴う生産意欲の低下などさまざまな条件から耕作放棄地はさらに増えるとの懸念を持っている。どうすれば良いか全庁的にしっかりと考えていかなければならない。

その他の質問

- ・地域別構想の実現に向けての取り組みは



個人番号カード（みほん）



証明書のコンビニ交付見送りは市の負担が多額になり見送った

渡辺秀雄
議員



捕獲されたイノシシ

問 本宮市の管理道において苦情や陥没による車の損傷事故等の情報提供はあるのか。舗装改良後20年、30年経過の路線が多く陥没の対応に行き届かないのでは。情報を早く入手し即対応するため、スマートフォンの通報システムの導入は。

答 平成27年度は3件の損傷事故が発生し、月5件程度の要望や苦情がある。経年劣化による道路破損が多く道路管理者だけの把握は限界がある。全面舗装を検討し、端末からの情報提供は有効な手段であり導入も含め情報収集に当たる。

問 イノシシによる農作物被害が各地で発生し、問題となっている。狩猟者の人数は十分と考えているのか。狩猟者も高齢化しており対策推進のため新規狩猟者確保の考えは。捕獲隊員は何度も足を運び大変であり報酬金額を考えては。

答 現在捕獲隊の隊員19名で活動しているが、高齢化し増えている。隊員の確保や活動しやすい体制の協力に努めたい。報酬金は個人の報酬というのではなく隊員に対する委託という点とで今後進めていきたい。

その他の質問

- ・耕作放棄地・遊休農地対策について



道路の維持管理は十分か 今後、調査・情報収集を続ける

石橋今朝夫
議員

問 有害鳥獣対策は

答 隊員確保の支援に努めていきたい



安全な通学路の確保を

問 私たちは長い歴史の中で交通を通じて文化を創造してきた。人々に出会いをもたらし、文化を育む交通をだれもが享受できる豊かな社会の実現に向け、生活交通体制や移動制約者のことを考え、交通基本条例を制定すべきと考えるが。

答 平成25年12月の交通政策基本法の制定や各地での総合交通計画策定が条例化の契機となったようである。条例化は地域の交通を取り巻く社会、自然、経済環境や文化、風習などに影響が考えられ、今後十分に調査・研究していきたい。

問 合併10周年を迎えるに当たり、その効果の検証は。

答 合併の効果の検証は安定した財政運営が可能となった

答 合併によるスケールメリットとして、組織の効率化による人件費や事務経費の削減や、自治体規模が大きくなることで財政基盤が強化され、安定した財政運営も可能となった。また、財政健全化計画により生活基盤整備も推進された。

その他の質問

- ・本市の各施設の駐車場の現状について
- ・人事評価制度について



問 交通基本条例を制定すべき
答 必要性を含め調査・研究する

後藤省一
議員

問 本宮駅東西自由通路等整備計画書のパブリックコメント募集を回覧等で実施したが、どのような内容の募集なのか興味を持っていただために計画書（案）の添付が必要ではないか。

答 計画によっては資料が膨大になるため、できるだけ多くの市民の方々の目に留まるよう、公民館、えぽか等の比較的多くの市民の方が訪れる施設に配置している。また、ホームページでの閲覧とメールによる意見提出も可能としている。

問 ①平成28年度の新たな取り組みは。
②2月26日から移住・定住ポータルサイトが重点事業として開設されたが、みずいる公園、えぽか、プリンス・ウィリアムズ・パークに遊びに来ている子育て夫婦の方々のPRは。

答 ①出会いサポート事業で未婚者の結婚に対する意識の醸成と出会いの契機づくりのための出会い創出セミナーやイベント事業等を実施する。②定住促進につなげるため、USBの活用やいろいろな形の中で本宮を広く発信していく。

その他の質問

- ・老人憩いの家の建設工事のスケジュールを示せ
- ・18歳選挙権に向けた投票環境整備の取り組みは



移住・定住ポータルサイト



問 計画書（案）の添付が必要では
答 公民館等に配置している

斎藤雅彦
議員

問 市民が求める多種多様な行政ニーズに対応するためにも総合計画策定については、多元・多層の市民参加による開かれた計画策定が必須と考えるが市長の所見は。

答 多くの市民の方々の意見を反映できるか、研究をしていかなければならない。多くの方々の意見を集約しながら総合計画に反映すべきという点では同じ考えであり、今後検討し、組織づくりをしていきたいと考えている。

問 福島大学の中に農学部設置の話があり、福島市ではすでに手を挙げている状況である。本市に隣接する農業試験場があるのも、五百川駅を利用することもできれば本市の活性化につながるかと考えるが。

答 過日、学長との意見交換の中で、本市にも農試が良く、そばには進めていく中でいろいろ話ができたらいい。安達地方として何ができるか、二本松市、太玉村と行動を共にしていきたい。

その他の質問

- ・平成32年以降の財政健全化計画を早急に示せ
- ・自主防災の充実強化のための策と指導を



農業試験場がそばにある優位性を生かすべき



問 開かれた総合計画策定を 答 今後検討し組織づくりをしたい

作田 博
議員



木造化により心む施設に（高木地区公民館）

問 五百川駅の利用者周辺人口は9,100人で本宮駅西側の人口6,400人の約1・4倍であり、さらに毎年増加している。早急に基本構想を作成すべき。また、公衆トイレを設置し、屋根付きの駐輪場も先行して整備すべきではないか。

答 市の総合計画や都市計画マスタープランに位置付けられており、計画的な段階を踏みながら進めていきたい。公衆トイレは全体計画の中で整合性をとり、駐輪場は利用状況等も含めて整備について考えていきたい。

問 国産木材の蓄積量は50億立方メートルで過去最大となり、価格も安くなっている。技術の進化で強度や難燃性が高まり、学校や病院等でも使われている。本市でも高木地区公民館や老人憩の家、第三保育所等の改築時は木造にしては。

答 本市では公共建築物を整備する際に、木造化・木質化をできる限り進めるという木材利用推進方針を制定している。今後計画している保育所や高木地区公民館も可能な限り木造化、内装等の木質化を図るよう検討を進めていきたい。

その他の質問

- ・ふるさと納税の用途を納税者に説明すべき
- ・高木の一部地域の建ぺい率見直しを



問 五百川駅周辺の基本構想作成を 答 段階を踏みながら進めていきたい

国分勝広
議員

問 公共施設の木造化を図るべき
答 できる限り木造化等を進めたい



早急な風評被害の払拭を

問 今後の風評被害対策をどう進めるのか。また、農業を取り巻く問題である担い手の確保対策をどのように進めていくのか。

答 風評被害解消には、本宮産の農産品の安全性PRを地道に継続していく必要がある。担い手の確保は、農業で生計を維持するという観点で考えると、経営のあり方を行政も相談に乗りながら探っていく必要があると考えている。

問 これからますます高齢化が進むことから、イクタンタフシーの運行を役所や病院だけに限らず、買い物もできるように改善できないか。

答 乗降場所は委託先の商工会新交通システム運行委員会が決定されている。低料金での行政エリア全域の移動が可能になってしまつと地元タクシー業界への影響も危惧されてしまうので、ご理解をいただきたい。

その他の質問

- ・市内の遊休農地の解消対策は
- ・中山間地の農地の管理について



問 今後の風評被害対策は
答 安全性PRを地道に継続する

渡辺善元
議員

問 地区公民館や体育館等の社会教育施設は耐震診断は平成29年度までに終了するのか。耐震診断の結果を受けて耐震工事や改築をして長寿命化または建設年次（老朽化の度合）によっては新築、統廃合等をするなどの判断はいつ行うのか。

答 予定どおり平成29年度には対象施設すべての耐震診断を終了する予定である。耐震診断のすべての結果が出た以降に、工事の時期や事業費等を含めて、財政健全化との調整を図りながら計画を策定していきたい。

問 子どもの遊び場の安全対策は点検等を行い適切に対応しているのか。
答 昨年2月28日に英国王子が視察されたプリンス・ウイリアムズ・パークの市内外の利用状況は。また、プリンス・ウイリアムズ・パークの設備、利用者（保護者等）、野球場のフェールボール等の安全対策はどうしているのか。

答 屋内遊び場の利用は間もなく20万人になり、市内45・8%、市外54・2%である。スタッフによる遊具の点検のほか、専門業者による定期点検や修繕、交換等を行っている。フェールボール対策は4mのフェールネットを設置している。

その他の質問

- ・市が行っている奨学金制度について
- ・PFI を利用した市営住宅等定住促進について



遊具の点検は行われているのか



問 公民館や体育館等の耐震診断は
答 平成29年度に終了予定

円谷長作
議員

問 東西自由通路と西口整備の計画が進む中、心市街地・西部地区は宅地造成に理想的な地区であり、民間開発が増える予想される。乱開発の防止、計画的な整備を進めるためにも仮称「西部地区整備協議会」が必要であると考えているが。

答 現時点では、協議の場設定の計画はない。西口開発等により西部地区は付加価値が上がると、魅力ある区域となる。長期計画の国土利用計画では大まかな方針が示されているが、今後はしっかりと住民意見を把握しながら進めたい。

問 全国的に保育士が不足しているが本市の現状は。保育士修学資金貸付制度は県で導入しており、資格取得後に一定の期間就業すれば貸付金が免除になる制度である。待機児童解消のための人材の育成・確保にこの制度の導入の考えは。

答 保育士は少ない状況だが、人員配置の調整により業務に影響は出ていない。平成27年度から臨時保育士の処遇改善を行い、人材確保に努めている。貸付等の希望者には県の制度や市の奨学金、基金および奨学資金給与制度を案内していきたい。

その他の質問

- ・地域交流センターの整備方針について
- ・消防・防災体制の充実について



西部地区の計画的整備で定住促進を



問 西部地区整備協議会をつくるべき 答 現時点では設定の計画はない

三瓶裕司
議員



平成28年度も農業への支援策を

問 昨年の9月19日、参議院で安倍自民公明政権は国民多数を踏みつけ、戦争法を強行した。憲法9条が禁じる国際紛争の武力行使を可能にするもので憲法違反は明瞭であり、認められない。この法律についての認識は。

答 安全保障関連2法のことと思うが、戦後70年を過ぎた中で、不戦の誓いはしっかりと堅持すべきという考えは変わるものではない。その中で海外で暮らす邦人の保護や国際貢献、平和維持、これをどうしていくか国民を挙げての議論を行う。いくべきと考えている。

問 今、農業の状況は、米価下落や野菜などの販売の低迷で元気が出ない状況である。本市の活性化に農業の振興は欠かせない。米などをはじめとする作物をつくる支援策はどのようなものか。

答 平成27年度から実施している認定農業者の育成支援事業としての機械購入補助や、カメムシ防除に係る費用の補助、循環型農業の支援策としての生産調整達成者への堆肥助成事業の3つを市の単独事業として実施している。

その他の質問

- ・東西自由通路等整備計画について
- ・子育て支援策について



問 戦争法についての認識は 答 不戦の誓いはしっかりと堅持すべき

渡辺忠夫
議員

問 農業への支援策は3つの単独事業を実施している



本市の名所をさらに PR すべき（高松山観音寺）

問 平成28年度の新規事業計画に取り入れたもとみや出会いサポート事業の取り組み方策は。

答 県で進めている結婚サポート支援センターとの連携により出会いの機会創出と意識の醸成を図り、総合的に結婚支援を進めていくことで、結婚率の向上、さらには出生率、人口減少対策に結びつけていきたいと考えている。

問 本市には、景勝地、文化遺産、自然が数多く存在している。本市の素晴らしい観光地や名所旧跡を知っていたくために今後の宣伝と、子どもたちへの伝承の考えは。

答 本市の名所等はホームページや旅行ガイドブックへの掲載、ポスターなどさまざまな機会を捉えてPRしたい。子どもたちへは、小中学校で市内の名所旧跡を取り上げ、現地を訪れて史跡の由来を聞くなど、体験的な学習を進めている。

その他の質問

- ・出会いサポートにあゆみちゃんを活用しては
- ・国際結婚に対する市の考えは



問 出会いサポート事業の方策は

答 県の事業と連携し進めたい

三瓶幹夫
議員

問 人口増につなげるため、出産祝い金や小中学校入学時のお祝い金の検討は。ゆりかごから墓場までの福祉政策を具体化するためには、墓地整備や納骨堂の設置などの市民ニーズを把握するためのアンケート調査をするべき。

答 それらの給付金は一時的なものであり、保育料減免や遊び場整備などさまざまな子育て支援策を継続していくことが経済的な支援になると考える。墓地を取り巻く環境は変化しており、今後の需要動向を注視し状況を見定めていきたい。

問 認知症カフェは認知症の人と家族を支える新しい心のよりどころである。地域の皆さん、専門職など誰でも参加できる。認知症の方々と共存した住みやすい社会を目指したあったかカフェがオープンした。安定した運営のため助成すべき。

答 高齢者介護の最も大きな課題は認知症への対応である。お茶を飲みながらリラックスするという点が従来の福祉事業と違う。運営費の確保が難しい中、地域の方々が担い手となっている。支援の必要性は運営状況を見守って検討したい。

その他の質問

- ・ボランティア団体に対して支援のあり方は
- ・他市から来る新婚・子育て世帯に家賃補助は



オープンしたあったかカフェまゆみ



問 墓地についてのアンケート調査を

答 需要動向を注視していきたい

川名順子
議員

会派の構成はこうなっています

会派とは、議会内で同じ政策を持つ議員の集団です。

本市では、会派結成の要件を議員2人以上としています。公党に所属する議員は1人であっても会派として認めています。

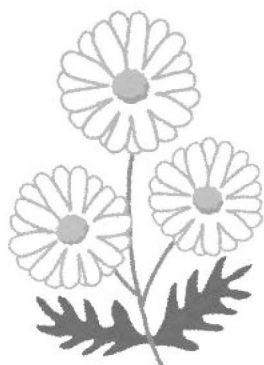
平成28年4月1日付で、新たな会派「志誠会」が結成されました。そのほか、会派の構成は次のとおりです。

平成28年4月20日現在

会派の名称	所属議員
みらい創和会	◎川名 正勝 渡辺 善元 円谷 長作 三瓶 幹夫 渡辺由紀雄 石橋今朝夫
新 風 会	◎國分 義之 川名 順子 山本 勤 三瓶 裕司 菅野 健治 斎藤 雅彦
日本共産党	◎渡辺 忠夫
志 誠 会	◎根本 七太 後藤 省一 橋本 善壽

※◎は会派代表者です。

会派に属さない議員	伊藤 隆一 作田 博 国分 勝広 渡辺 秀雄
-----------	---------------------------



夢先生事業で子どもに心の強さを

問 夢先生は、本市では平成24年から行われ、平成27年度は10月1月にかけて21回行われ、小学5年生、中学2年生を対象に行われているが、実施している経緯は、平成28年度以降の計画

答 平成24年度からサッカー協会が主催するこころのプロジェクトを利用し、震災があった後に、子どもたちに夢や希望を持って頑張ってもらいたいという願いがあり、この事業を取り入れていた。平成28年度も実施したいと考えている。

問 機構改革の考えは

答 本市は合併10周年を迎える。本庁と白沢総合支所の職員の業務を集約化し、新たな本宮にするため、機構改革する

答 白沢総合支所は組織改編を重ね、現在3課での体制となっている。震災復旧が進む中、平成28年度には組織運営の課題や新たな政策目標への対応、効率的な組織体制に向けた見直しを予定しており、考え方をまとめていきたい。

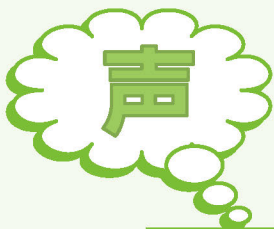
問 夢先生を実施している経緯は

答 子どもに夢や希望を持ってほしい

菅野健治
議員

その他の質問

- ・3万人総活躍社会実現に向けて
- ・市制施行10周年について



岩根小学校6年生の52名が傍聴に来てくれました。児童たちは緊張した表情で一般質問に耳を傾けていました。今回はその中から2名の方に傍聴の感想を寄せてもらいました。

市議会を見学して

今日は、市議会ではどんなことをどんなふうにしたかについて決めるのかを見学しました。市議会では、市長さんをはじめ教育長さんなど沢山の人がいました。本宮市民が安全に、そして安心して暮らすを送れるようにさまざまな問題を解決していました。

僕たち小学生なら、誰か一人が考えを主張しているばかりで、他の人の意見を聞きませんが、市議会の皆さんは相手の意見をしっかりと受け入れているのがすごいと思いました。

そして、市民のために、小さなところまで改善しようとしているのがすごく伝わってきました。例えば、これからお年寄りが増えるからエレベーターを付けようなど市民を気遣う姿がいいなと思います。

市議会は、市民にとってとても欠かせない存在だなと思いました。

柳沼 陽人さん

議会見学をして感じたこと

私は最初議会では何をしているのか、分かりませんでした。でも見学していろいろ分かったことがあります。中は、社会の教科書で見えるような机やイスなどがあり、沢山の人が入ってくるにつれてシーンとなっていました。

一般質問の方の質問が始まりました。沢山の質問の中には、私たちにも関係するものもありました。駐車場のことやあいさつ運動、またエレベーターのことなど、私たちが住んでいるこの本宮市について皆さん真剣に考えていらつしやいました。

私はこの見学を通して議会では何をしているのかなどを知ることができました。本宮はいろんな方たちに支えられているんだなと思いました。

千葉 美月さん

大きく羽ばたけ！



市議会を傍聴しました。
(岩根小学校6年生の皆さん)

次回6月定例議会は
6月7日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
5月26日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営
委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435



あ と が き

3月1日から18日までの会期で定例議会が開始され、市長より55分間にわたる予算編成方針の提案理由説明がありました。3月7日には上尾市長ほか5名の幹部職員と岩根小6年生52名の議会傍聴があり、議場内が熱気に包まれました。7年後にはこの子どもたちに選挙の投票権が与えられます。本宮市の将来に期待したいと思います。11日からは3日半にわたり予算審査が執行され、かつて無い活発な議会となりました。39議案可決、2陳情採択となり、無事閉会しました。毎日が緊張の連続でありました。

今後も読み親しまれる紙面づくりに励みますのでご指導よろしくお願いします。
(山本)

発行責任者

議長

渡辺由紀雄

副議長

菅野健治

委員長

斎藤善壽

副委員長

石橋雅彦

委員

三瓶今朝夫

委員

山本幹夫

委員

国分勤

委員

渡辺秀雄

〈再生紙使用〉